

所長に就任して

岩 根 圀 和

つい目と鼻の先にありながら言語研究センターへ足を運ぶのはせいぜい月に1、2度、それもとりにて用事があるわけでもなく、通りがかりにふらりと寄る程度のものであった。そんな人間が所長の重責を務めることになったのだからその狼狽ぶりは推して知るべしであろう。もともと私は、言語研究センターの所長には言語研究を専門分野とする者がその責に就いて研究活動の統括をしてゆくべきだと頑なに信じていた。しかし実際に所長になってみるとそのような生半可な持論は焼けたトタン屋根の雪だるまのごとく瞬時にしてはかなく溶け去ってしまった。

三月末の派遣社員採用のための面接に始まり、LL教室改修にともなう業者との対応、教材開発室にかかわる諸問題、マルチメディア教室の運営、パーフェクトテレビ設置に向けて業者との交渉、そしてCD-ROMやアプリケーションソフトの購入などの細かい雑事、とりわけLL教室とマルチメディアの諸問題が次々と目白押しにやってくる。言語教育を円滑に稼働させるためには必要不可欠な作業であり、新学期にはとりわけ多忙であるのは仕方がない。しかし責任感さえあれば誰にでも処理出来る仕事である。

その一方で言語教育関係の雑事にかまけて肝心の言語研究の陰が薄くなってはならない。この方面の活動を浮き上がらせるにはまず共同研究グループの活性化を計らねばならないだろう。少ない予算の中から幾ばくかの援助が出来ればと思う。そのため既存の共同研究グループの継続ならびに新規募集を予定している。講演会にしても、充分な

謝礼を捻出できないかも知れないがその時はまたなんらかの手段を講じることを考えるつもりである。このような地道な活動の成果が紀要の充実にもつながって行くだろう。ささやかながらも研究活動を根付かせること、そうすればやがて花が咲き実を結ぶに違いない。突然に理想をふりかざして大きなことを求めても何もできない。一粒の麦が地に落ちて死ねば豊かな実を結ぶ。それを期待したい。いたずらに先を急ぐことなく堅実にまず基礎を固めることから始めるつもりである。もちろんセンターの運営委員がひとり張り切ってみても所詮むなし。所員、とりわけ言語研究を専門とする諸氏の協力を心から願う次第である。

従来の三名に加えて今春から派遣職員二名を追加してセンターの雰囲気も大きく変わったと密かに自負している。もちろん公私を混同した無理な注文は受けられないが、なによりもまず柔軟な対応を持って所員に万全のサービスを提供することを心がけている。朝の八時半から夜の八時半まで常時開室して柔軟なサービスを所員に提供できるように配慮したのもその現れのひとつである。言語研究センターに対する従来の不平・不満あるいは恨みつらみを捨てて是非一度来室して戴きたい。用事などなくてもいい、お茶を飲むだけで結構、そしてご意見、ご批判を承りたい。

就任より三ヶ月、今やそれぞれの職員が自分の領域を守って働いてくれている。ひとりひとりが言語研究センターのメカニズムにとって欠かせない歯車である。感謝して大切にしたい。そして所長は日々、その間を巡回しては油を差して回っている。

英文和訳を通じて日本語教育

国 広 哲 弥

今年 は英語学講読の時間に George Yule の *Pragmatics* を読んでいる。その第3章は次のように始まっている。

Throughout the preceding discussion of deixis, there was an assumption that the use of words to refer to people and things was a relatively straightforward matter.

指名した学生はこれを次のように訳した。「これまでの直示についての議論を通して、人や物を指す語の用法は比較的簡単なことであると想定してきた。」これは日本語としておかしい。「…の議論を通じて」でなければならない。そう言うと、学生は「なぜですか」と言う。最初ははっきりしなくても、指摘されれば「なるほどそうか」と分かるのが普通の反応であると思うけど、「なぜですか」と反問してくるところに日本語能力の問題がある。そこで教室では「とおして」と「つうじて」の意味の違いを説明することになるが、英語教室は日本語教室に変わるのである。「ハワイでは一年をつうじて気温が変わらない」とは言うが、「*ハワイでは一年をとおして気温が変わらない」とは言えない。詳しいことは柴田武編『ことばの意味—辞書に書いてないこと 2』(平凡社)に書

いているのでそちらに譲るが、ある期間にわたって続く出来事や状態が問題になっているときは「つうじて」を用いる。「とおして」は単なる通過場所を指すときに用いる。上の英文はそれまで続いた議論を問題にしているのだから、「つうじて」でなければならない。この拙文の題に「つうじて」を用いているのも同じ理由による。

これはほんの一例であり、英語の教室ではこのような日本語の学習不足がしばしば障害となる。「この all は『あらゆる』であって、『すべての』ではない。」と説明してみたところで、こういう日本語の意味が分かっていなかったら何にもならない。「あらゆる」は開いた集合を表し、「すべての」は閉じた集合を表す。ある all の用法がどちらの意味であるかということまで考えるのが、的確な読みと言うものである。このような基本的な語の意味用法については、高校までの日本語教育で十分に訓練されていなければならない。高級な文学鑑賞ばかりやって、基本語の意味用法をないがしろにしているのは砂上の楼閣を築くことになろう。これは大学入試の問題の出し方が影響を及ぼしている面もあるので、十分な反省が必要であると思う。

スワヒリ語のレッスン

—— 言葉は伝え、隔てる

小 馬 徹

こんなに通じていいのかと思った。1979年夏、初めてナイロビ空港に降り立った時のことだ。

その数年前、文化人類学徒として東アフリカの何処かで現地調査をしようと思い立ってから、同地の共通語、スワヒリ語の独習を始めていた。その後、東京外国語大学で一カ月の間、毎日早朝か

ら夕方までドップリとスワヒリ語に漬かる、猛烈な訓練を受けられた幸運もあった。しかし、どうだろう。初学者の外国語が、仮にも土地の人々に伍して「白昼堂々」と通じてしまうとは。

それには大いにわけがある。スワヒリ語の音韻構造は、日本語にとってもよく似ている。スワヒリ

語は、日本語と同様、各音節が原則的には「子音＋母音」で構成される開音節構造をもつ。母音も5つで、uが円唇になる他は日本語の母音にはほぼ等しい。海岸方言以外には、日本人が発音しにくい子音も少ない。さらに、抑揚は語も文も日本語のように平坦を旨とする。日本人のスワヒリ語の発話は、実に美しく響くらしい。そして、スワヒリ語は明晰に聞き取れて日本人の耳に優しい。

もちろん、文法は水と油ほど違っている。スワヒリ語は、交易を求めて7世紀前後にアフリカ東海岸島嶼部に進出したアラビア商人の活動の結果、バントゥ語の文法体系にアラビア語の語彙群が接ぎ木されてできたクレオール言語である。後年、英国植民地政府は、スワヒリ語を東アフリカの共通語とするべく、ザンジウ＝オマン王国の首都だったサンバジルの方言を基に標準スワヒリ語を人為的に作り上げた。他の品詞の名詞クラスへの一致が貫徹されていて過剰に論理的でさえあり、習得は逆に困難ではない。しかも、スワヒリ語は海岸部生まれでないケニア人にとっても母語ではなく、小学生になって正式に習い始める言語である。そのうえ、内陸部にあるケニアの首都ナイロビでは、商人が広めたピジン的な内陸方言が主流だ。だから、語彙の乏しさはともかくとして、私のスワヒリ語の方が文法的には正確だともいえ、しかも私は海岸諸方言にも多少は通じていた。

私は、ケニアにいる以上はスワヒリ語で話すのが礼儀と心得て、到着以来それを通した。数日後、政府測量局に地形図を買う許可を貰いに出掛けた時の事である。役所の誰もが、始めてケニアを訪れたという日本人が話すスワヒリ語に驚いて、大歓迎してくれた。そこのボスは親切で寛大な人物だったが、部下とも私とも終始流暢なクインズ・イングリッシュで会話した。礼を述べて辞そうとすると、彼は席を立て、是非にと私を庁舎の玄関まで送って来た。二人きりになると、彼は柔らかい大きな手で私の手を握りしめて、スワヒリ語でこう言った。「今日はとても嬉しかった。あなたのような外国人は始めてです。この国に幾十年も住みながら、スワヒリ語を一言だって覚えようとしなのが通例ですからね」。彼は、「召使の言語」ではなく流暢な英語を操るエリートとして常に部下に対しながらも、私とはスワヒリ語で一言話しておきたかったのだ。

1963年末まで植民地だったこの国のエリートの深く屈折した心情と、言語環境の複雑さを思い知った。言語は、心を通わせる手段であると同時に分け隔てる障壁でもある。ケニアに着いて間もない数日間に解くことになったスワヒリ語のこの「練習問題」は、全く系統の異なる南ナイル語諸語をその後フィールドで学び始めた時に、忘れがたいレッスンとして私の心に強く蘇ってきた。

外国語の難易度の相対性

石 井 陽 一

スペイン語は易しいという神話がある。易しいとか難しいとか言うことは相対的なもので、何を基準とするかが問題である。動詞を基準にして考えると、ヨーロッパ語の中で一番易しいのは英語であろう。その次がドイツ語かもしれない。ラテン系は動詞の変化は大変である。名詞の性に関しても英語は易しいというよりは無いに等しい。スペイン語は、ドイツ語やフランス語よりは易しい。自然の性はそのまま、たとえばドイツ語のよう

に、娘さんが das Mädchen と中性になることはない。それと語尾である程度性を推定できる。だから男性や女性の定冠詞をつけて単語を覚えることはない。格変化となると難しいのはドイツ語で、スペイン語も英語も大したことはない。英語が難しいのは spelling と発音が違うことが多いことであろう。スペイン語はこの点は易しく、ローマ字どおりの発音も多い。特に“シ (si)”という発音はまさに日本人向きである。また、英語は中腹ま

で登るのは容易だが（多分それが英語を貿易の共通語にした一因）、例外が多いので頂上がなかなか見えないという難しさもある。たしかに相対的にはスペイン語は易しいということになるかも知れないが、神話を信じてスペイン語を選択した学生は話が違うという心境になるようだ。ほんの少数ながら毎年動詞の変化拒絶症のような学生に出会う。私は元来は語学の教師ではない。しかし本業のラテンアメリカ地域研究、法律スペイン語だけではコマ数が足りないせいもあって、僭越ながら他学部のスペイン語を若干受け持っている。だから私の所感は素人の暴論かもしれない。

私の時代は、第二語学といえば、ドイツ語だった。旧制高校に二年ほど在籍していたが、その後

新制大学に移ってからもそのままドイツ語をとった。旧制では第二語学でも週7時間あったから、かなりの時間ドイツ語をやったことになる。昨年10月ウィーン大学で開催された先住民と環境問題という国際セミナーの使用言語はドイツ語とスペイン語だったが、私は、主として卒業後仕入れたスペイン語で発表し、それがドイツ語で同時通訳されたのは妙な気分だった。結局語学というもの、ある必要に迫られ、意欲を持って学んだものが身につく、使わないとすぐ錆がつくということであろう。さて、いま私が教えている週3時間2年間（貿易学科はなんと1年間でもよい）のスペイン語を習っている学生の将来やいかに、時々思うのだ。

★新着案内★

☆視聴覚資料（98年度購入分）

録音資料

趣味的漢語閲読

NHK新ロシア語入門

新ロシア語教程（ビデオ付）

ヌーヴェル・シャンソンで楽し

む現代フランス語スケッチ

映像資料

草原の輝き

I Shot Andy Warhol

The King of Comedy

Lost Highway

Asia Now（カセット付）

実験音声学

Touch of Evil

ビデオで入門フランス語

（カセット付）

Persisting Dreams

A Bible and a Rose

The Age of Revolutions

Donnie Brasco

Brassed off

Double Indemnity

Blood & Wine

Private Parts

Bed of Roses

Career Girls

Secrets and Lies

Short Cuts

Sling Blade

Get on the Bus

The Full Monty

Clockers

Nil by Mouth

Cop Land

As Good as It Gets

Don Quijote de la Mancha

Candilejas

La Verbena de la Laloma

La Boutique

El Cartero

Cantinflas

Sol de Otoño

Fortunata y Jacinta

Romon y Cajal

Los Gozos y las Sombras

Lorca Muerte de un Poeta

El Paciente Ingles

Cantinflas el Padrecito

Secretos y Mentiras

¿Dónde vas Alfonso XII?

Guantanamo

La Proncesita

El Disputado Voto del Senor

Cayo

Tiempo de Silencio

El Polizon de Ulises

Good Will Hunting

Die Rättin

Deutschlandspiegel 13~15

Germinal

L'Odeur de la Papaye Uerte

Madame Bovary

The Decameron

Les Belles de Nuit

L'Amant

うたかたの戀

北京人在紐約

Rainmaker

Jackie Brown

Bullets over Broadway

Twin Town

Titanic

12 Angry Men

L.A. Confidential

☆図書資料については図書館
OPACで検索してください。